

橋本市が NO.1 になるための取り組みについて、下記に記述してください。

1. テーマ
「橋本市 (DASH) 村計画」
2. 目的・ねらい (why)
橋本市で地域の人たちとかかわりながら、楽しい思い出、自分たちの思いの詰まった場所を作っていくことで、橋本市への愛着を深めてもらい、若い世代の定住促進を図る。(詳細は効果に記載) 橋本市の自然を活かし「DASH 村」という、若者にもとっつきやすい方法で農業体験をしてもらい、橋本の良さを実感し地域の人たちとの交流を深めてもらう。
3. 課題 (what)
●橋本市 DASH 村を作るにあたって、密に参加できる参加者を一定人数集められるかどうか。周知方法の工夫が必要。 ●参加者の安全面の確保や、他の協力団体等との調整、スケジュール管理など、担当の職員への負担が重い。 ●適当な場所が見つかるかどうか。(立地・安全面等) ●農作業等、手伝ってくれる人が見つかるかどうか。
4. 対象者・対象範囲 (who・where)
橋本市在住の高校生・大学生 (20 人程度を想定) (ある程度自身で(目的地への集合などの)行動ができる、安全面考慮)
5. 実現手段・内容 (how)
<実施内容> ●日頃の作業についてはグループ単位で行うが、月一回参加者全員参加の定例会議を開き、参加者に報告・計画等を行ってもらう(その中で何がしたいかも随時考えていく)。 ●農作物を作る(何を作るかは、資料を提示した上で定例会議において随時決めてもらう)。 ⇒収穫期に採れた野菜などを使って、市のイベント (SUMMERBALL・まっせ等) で出店する ●市管理施設 (空き家等で村の中にある建物) を使って拠点場所を作る。 <例>廃材で家具を作る、陶芸で食器を作る、再織で飾りを作るなど

- 農作業の合間（雨天含む）に、橋本市内の団体（市の機関含む）と連携を図り、様々な体験をしてもらう。→補足資料参照
- その他、近隣の農家の方々に依頼し、参加者が来られない時の村の世話をしていただく。

＜実施例＞

	<4月>	<5月>	<10月>
農作	土作り～収穫まで		
出店			収穫物で出店
体験等	ビザ釜	再織	へら竿
全体会議	月1	月1	月1

＜広報面＞

参加者を募るにあたり、橋本市のホームページでの広報はもちろん、電車の中吊り広告などでも広報し、多くの参加を募る（参加者以外にも、橋本市での取り組みを広く知ってもらう）。

ツイッター・Facebook・YouTubeなどのインターネット媒体も活用し、実際の取り組みや村の変化など、随時発信していく。

6. 実施時期 (when)

1月から募集をかけ、3月にはメンバーを決定。4月からの一年サイクル。1サイクルで終わるのではなく、一定の長期に渡って行いたい。

OB・OG会を開催し、1サイクルの参加者同士だけでなく、1期生2期生（実施期間に応じ増）間でも交流してもらう。

7. 実現するための体制 (who)

●担当職員：最低1名（この計画のコーディネーターとして、1年間のスケジュール管理や参加者の安全面の確保、参加者のグループの調整、その他の団体との調整、農業大学等への依頼など）

●一定の農作業が可能なボランティア：多数（水やりや草むしりなど日頃の村

の管理、農作業の指導など)

●農業大学・紀北農芸高校などの教授・生徒（農業についての指導など）

8. 効果

橋本市で、橋本の人たちと楽しい思い出を作ったり良い経験を重ねることで、橋本市のこと（人やまち）をもっと好きになってもらう（橋本市への愛着を育てる）。将来について考える時期である中・高・大学生をターゲットにすることで、進学・就職を橋本市で残ることを念頭に置いて考えてもらう（一時的に離れることになっても、将来また橋本市で住みたいと思ってもらう）。

OB・OG会を橋本市で定期的を開催することにより、橋本市の人たちとの交流の場の継続的な提供につながる。

9. その他

<現状について>

子ども会の活動が昔に比べ減少するなど、地域の人たちとのかかわりが薄れることによって、橋本市への愛着を持ってもらう機会が少なくなっている。なかでも、義務教育から離れた高校生・大学生向けの（地域交流ができる）事業が少ない。

橋本市でも公民館活動や商工会議所などで様々な取り組みが個々に行われているが※補足資料参照、十分に広報できているとは言えず、知らない人も多い。
⇒橋本市の事業として、地域と交流する中で愛着心を育んでいくことができる企画が必要

＜補足資料＞

体験等、橋本市 DASH 村計画の中で連携を期待するもの

●農林振興課

- ・ 農業研修講座を受講し、農作物の作り方を学ぶ。
 - ・ 締め縄作り
 - ・ 味噌作り
 - ・ しいたけ栽培 など
- } 山村体験交流促進センター

●公民館（館利用者のサークル活動も含む）

- ・ 草木染め
- ・ 柿の葉すし作り

●商工会議所

- ・ ツリーハウス造り
- ・ 陶芸家による陶器の作製
- ・ 高野口の織物技術を生かした織物の作製
- ・ 紀州のへら竿の技術を生かした竹細工の作成

●ひだまりクラブ

- ・ ピザ釜づくり
- ・ ログハウス造り

●国城観光農園

- ・ 果樹園作業